

（案）

[授業の展開案]

共に生きていくために

1 ねらい

- * いろいろな人とかかわるちからを鍛える（多様性を認め合う＝自分らしく共に生きるために）
- * 自分を見つめ、自分とのかかわり方、他の友達と折り合う（共存する）ちからを鍛える
 - (1) 人権って何だ？ 人権を大切にすると何だ？ 人権週間を機会に
 - (2) これまでの、継続的な学習（道徳、なかまづくり）を振り返る
 - * 自分とは違う他者とどう生きていくか？
 - * 自分とうまくつきあい（いまの自分を認めること）、
 - * 自分らしく（エンパワメント：成長していくちから）生きていく力を高める
 - (3) 他者に依存できる力をつける（本当の依存＝自立・自律した生き方へ）
 - (4) 人権週間資料も活用して…差別を許さない集団、仲間になろう

2 実践授業案

- * 学年の計画に + x 時間で調整可
- * 「ねらい」に向けた学習活動〈3 時間～4 時間計画の案〉

【0 時間目】 クラス弁論大会を終えて→しごと聞き取り課題報告にむけて

【1 時間目】 『君が僕の息子について教えてくれたこと』より

***きちんと視聴！！* 従業者の余計な解釈をいれない**

DVD (1) 様々な人を知る：東田直樹さんに出会う どんな人だろう？

- ① 東田さんが車からでたところの、 イメージ＝人の思い込み…、見た目だけで
- ② 続きを視聴していく
 - ・ 飛び跳ねる東田さん… VTR の題や意味がわかりにくそうならばいったん停めて、説明。
 - ・ 窓が気になる東田さん… 生徒の視聴の様子をよくみていく
 - ・ キーボードで伝える東田さん… VTR 14 : 22 まで

④ 生徒の東田さんのとらえ方（感想）を出し合う中で、彼の「タイプ」をまとめる

- ・ 「すごい」というコトバには、何が「すごい」のか聞いてみてもよいかも。
- ・ 障害、特性、自閉症の内容説明に深く入り込まない。（クセ、タイプ）

(2) **自分のこだわり、タイプ 気になることはある？か考えさせる。**

- ① 授業者自身のこだわり、タイプ、苦手なこと・クセ・タイプをモデリングする。
(マイナス、プラス、明るく、真剣に、自分の生き方で大切なこと)
- ② じっくりと考えさせて、WS に記名させる。とてもしんどいことなら無理にかかなくてもいい。開示させない、でも、逃がさず深く考えさせよう。
- ③ 落ち着いたところで「**それって理解してもらえてる（わかっている）？**」か、考えさせる。全体で議論する
 - ・ わかってほしいけど、努力しているけど、むずかしいんよ
 - ・ 親はわかってくれている。

- ・友達はわかってくれている
 - ・なかなか言えない。
 - ・お互いに「知る」「理解する」ことは難しい…のかなあ
 - ・全員に知ってもらう必要はない。近いひとに自分を知ってほしい
- ◎授業者自身の考えも提示して、深めていく。

(3) 東田さんは、自分の「タイプ」を理解してもらっているのかな？

- ・家族はわかっている

◎みんなは東田さんの「見方」はどうだった？ VTRの最初と「いま」

- ・「世間という私たち」は、表面的な見方だけで、偏見や思い込みを持った眼でみてしまうおそれがあるかも。

(4) 今日の感想を書く。疑問や思ったこと・考えたこと

【2時間目】 () 前回授業を受けて、プラス
クラスでクラス わたし あなた なかまを〈よく〉するために

- 1 復習 全体で共有 東田さん
自分自身の特性 (くせ) あるひと
知ってもらえているのか 親 友達 部 クラス 自分

2 カレーライスワークショップ (トレーニング)

- ルール：秘密厳守 順番 反応
学んだこと・考えたこと 差別・偏見をなくす 「そんなものを なんて」思い込み

3 メディア・真実を見抜トレーニング2 BBC ニュースから

4 次回予告 その2 (3つのヒントから)

【3時間目にむけて

しんしんタイムで 予習準備 必ず全員 一部でも OKOK サポートしながら書かせる】

- (1) 次回の授業 (ワークショップ) で、もっとお互いをわかり合う学習をするための
予習プリントを書こう。・相談させずに→記入→回収

(例) わたし・あなた・そして仲間 予習アンケート

1年 名前 ()

1年のなかまたちと生活をはじめて7ヶ月。

応援しあって、進路を切りひらいていく仲間になるために、また少し、1Aの
仲間のことを知ろう。 いっぱいある中で1つ話してよいことを教えてください。

[見つめて]

質問 1 わたしらしい特徴 (とくちょう) をひとつ教えてください

質問 2 わたしが大切にしているモノやコト、（宝など）をひとつ教えてください

[いま・わたしの持ち味]

*餅味^{もちあじ}ではありません

質問 3 わたしの強味（がんばっていることや 得意 特技）をひとつ教えてください。

質問 4 わたしの教えてください

質問 5 わたしを動物にたとえると （自分が思っていたり、言われたことがある場合はその動物を）

【3時間目】 特徴や持ち味（動物）だけのヒントで、それが誰なのか当てるワークショップ

- (1) 予習プリントをシャッフルし、全員に番号をうつ（2番～）。*意図的な順番も必要
- (2) ワークシート配布
- (3) 授業者（担任）も混ぜておき、1番にして、ワークショップのモデルにする。
- (4) 2番～ 数名進める
「難しい」という声を聴き、グループにする。
 - ①小さな声で相談してもよいこと
 - ②グループで意見をまとめる必要はない。（グループ学習の掟）
 - ③自分だと言わない
- (5) 時間配分に注意しながら、最後まで進める。
- (6) 振り返り（回答）
 - ・ 2番「〇〇で、強味が〇〇な、（動物）さんは・・・」挙手させる。
 - ・ 生徒から生徒への質問ができたなら1、2個うながす。
 - ・ でなかったら授業者から意図的な質問をしてもよい・[双方向的な語り合い推進]
- (7) 振り返りを数人に聞いて→振り返り欄に記入させる。
 - ・ 「当事者研究」に言及
- (8) 次回予告
「自分」をわかってもらったり、弱味と（付き合う）ためにはどうするか考えます。その道のプロゲストティーチャーをお招きします

回答ワークシートのイメージ

わたし	あなた	そして仲間	
1	(授業者) さん	参考	
2	さん	*名簿	
3	さん		
4	さん		
20	さん		
振り返り欄			

【4時間目 【11/1】 参観日 PTA 人権教育研修会】

案 ワタシとワタシのとなりの「あなた」と共に生きていくために
～エリアティーチャー ・塚本さん 梶原さん 森下さん をお招きして～
・SSW 小寺さん

- 1 事前：(1) ホワイトボード、ペン準備
(2) テーマ (ねらい) 板書
・前時の生徒の「振り返り」から、生徒の疑問や悩みを意識して組み立てる
・A ティチャーへの依頼
・A ティチャーさんと考えていきたいこと

参照

昨年度：一年生の先生と一緒に考えたこと（一年生の課題やこの授業で考えたいこといろいろ）

- 1、「カッコいい大人になろう！」をキーワードに、クラスで、学年主任が語った。
- 2、関西福祉大学への福祉体験で、大人になることは、回りの人の気持ちをしること、思いやりをもつことを学習した（10/13）
- 3、伝書鳩さんが多い
- 4、給食時間に、コロナ禍以前のように、班で机をつけて会食するのに抵抗感がある生徒が多い（仲の良い友達となら話せる）
- 5、「言ってよいこと」がわからない
- 6、「親しき仲にも礼儀あり
- 7、仲間を尊敬する学級風土（学年集団）をつくりたい
- 8、人との「かかわりかた」を大事にしてほしい

今年度：10/21（月）に打ち合わせる

- アプローチしたい学年の課題（クラスとしての課題）
- 気になる生徒（個への支援や指導）
- 親の願いや思いを深く考える

- 自分自身の「でこぼこ」を知る 「弱みを受けとめる」自分の暮らすクラスの仲間にも知ってもらう
- 本音で語り、がんばろうとするクラスにする
- 弱さや苦手を言っていよいよクラスにする

授業のながれ案

1 ねらい

- ◎自分自身が、自分の「特性・弱さ・苦手（クセ）」とつきあうためのアドバイス
- ◎自分を他者にわかってもらうためのアドバイス
- ◎クラスへのアドバイス

2 ワークショップ

- *タイムマネジメントも合わせてファシリテーション（久次）的に授業を展開する。
- *促進

(1) ねらいの明確化

(2) ゲストティーチャー（自己の立場の紹介）

- ・支援する立場 親の願い ・正しい理解を進める専門家として

(3) ゲストティーチャーからの提起（5分×3人以内） *質疑につなげる提起

*とても時間が短いです
(SSW 小寺はサポートで語らない)

例：・脳のタイプ・くせ・特性は自分らしい生き方
・他者と比べるものではない
・暮らすクラスの中で認めあう
・「助けて」と言えるクラス 集団になろう
・他者に依存できることが「自立」

○自分の特性にかかわって、
・困ったことや助かったこと（人との関わりを中心に）
・たくましく生きてきたこと

○子育ての中で、
・我が子の成長をみつめて
・特性をもつ子ども、クラスの子どもたちへわかってほしいこと 知ってほしいこと

(4) ゲストティーチャーさんへ、前回の授業をもとにした質問も合わせて、ホワイトボードに書き、応えてもらう

過去の例：勉強が苦手けどどうすれば
コミュ障だと思っただけ
朝が起きられない 自分が好きになれない
障害、特性はマイナスなの？
勉強ができなくても進路は大丈夫か

↓ ・机間巡視して把握

(5) 双方向性のやりとりで、ダイアログ（質疑応答）（しっかり時間をとる）

(6) 最後：ゲストティチャーから中学生へメッセージ（2分×3人）
・補足や願い・思いをそれぞれまとめて

◎その中で、ATが提案

お互いをもっと理解するため（この授業の感想&クラスで暮らすために、お互いにひとつ弱みを語り合う（サポートしあうために）時間をとることを学級委員へ提案→学級委員は担任・学年主任に聴く *久次が支援する

◆ATとの打ち合わせ草案

1 テーマ クラスでクラス ために

～わたし あなた なかま を〈もっと〉するために3

2 モデル質問いる？

・くせ、特性はフツウじゃない？ よくない？ モデル質問者（ ）
・まわりのひとを傷つける（傷つけたことがある）気持ちを思いたい

A ティチャーから中学生へメッセージ（2分×3人）

例◎お互いをもっと理解するため

・知ろうとする わかろうとする 多様性 真剣にかかわる ごまかさない

(7) 振り返り&*4時間目の原稿をじっくり書く(話す練習も必要・書かせる支援)時間

【5時間目】案

○ここだけのみんなに知ってもらいたいこと。わかってほしいこと」ひとつ報告会

****級友とのかかわり方、級友を理解することを体感させる!!!**

・前回のふりかえりで①学んだことや考えたこと

②これからがんばる「進路実現」や「学校生活」にむけて、ここだけの仲間に知ってほしいこと(当事者研究 特性 弱み クセ)をまとめ、語る。

・報告には、誰かが反応する(受けとめる)

例えば 次の報告者や同じ班メンバーが ・弁論大会のように進行は学級委員で

